



国民の森林・国有林

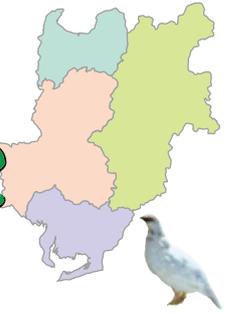
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



3月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



中部森林管理局庁舎前のウメ（中部森林管理局広報）

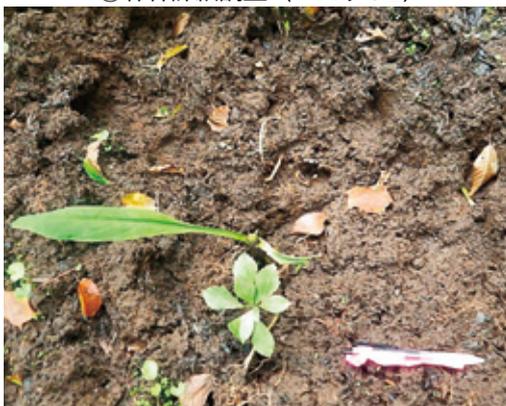
主な項目	○ 本局のトピックス（保護林管理委員会を開催～ほか） …… P1
	○ 各地からのたより（蘇る岐阜城～岐阜城跡発掘調査から～） …… P3
	シリーズ「ご当地自慢」（岐阜森林管理署 岐阜のマチュピチュ「天空の茶畑」と「池田山」） … P5
	森林のお仕事紹介コーナー
	☆「森林官からの便り」（富山森林管理署 神通森林事務所） …… P6
	☆「森林・林業界からの便り」（富山県西部森林組合 氷見支所） …… P7
	☆「林業土木業界からの便り」（加藤土木株式会社） …… P8
	○ 4月の見どころ聴きどころ …… P9

保護林管理委員会を開催

【計画課】

二月十八日、中部森林管理局大会議室において「令和元年度第二回保護林管理委員会」を開催し、本年度実施した千曲川下流・長良川森林計画区内の保護林と白山山系緑の回廊のモニタリング調査結果、来年度予定しているモニタリング調査箇所等の検討を行いました。

①森林詳細調査（プロット2）



イノシシによる掘り返し跡

モニタリング調査では、保護林や緑の回廊内において、ニホンジカによる顕著な被害はないものの、生息域の拡大がみられるこ

と、一部の保護林の近隣で外来植物の侵入がみられたこと等の報告がありました。

委員からは、本年度の調査箇所では、深刻といえる程の獣害及び外来植物による被害がみられる保護林等はないが、引き続きモニタリングを行い、状況を把握することが必要との意見等がありました。

今後とも、保護林管理委員会でのアドバイスを受けながら、国有林内の森林生態系や希少な野生生物について、将来にわたって適切に保護・管理を行って参ります。



保護林管理委員会の様子

森林総合監理士による

先進地視察を開催

【技術普及課】

二月十八日～十九日、中部森林管理局管内の森林総合監理士八名による先進地視察を開催しました。

この視察は、森林総合監理士としての礎である技術力、構想力、合意形成力を十分に発揮するため、の知見を深めることを目的としたものです。

初日は、群馬県甘楽郡下仁田町の小井土製材株式会社で、地域材を利用した2×4材等の様々な製材製品を作る様子を視察しました。社長からは、製材製品を多様化することで、売り先を多くし、それによってリスク軽減を図っていることなどについて詳しくお話をいただきました。

その後、利根郡川場村で「川場村グリーンバリュープログラム」の森林コンビナート構想についての説明を伺い、また、翌日は現地を視察しました。参加者からは、「過疎化が進む農山村における活

性化モデルとしてとても参考になった」という感想がありました。

最後に、関東森林管理局において、森林共同施業団地の取組についての説明を受けて両局の森林総合監理士による意見交換会を行い、中部局とは違う民国連携活動や人材育成について貴重な知見を得ることが出来ました。

今後も先進事例地等の視察を通じて森林総合監理士のスキルアップに努めてまいります。



小井土製材社長から2×4材の説明を聞く様子

〈本局のトピックス〉

カラマツ林業等研究会設立 四十周年記念シンポジウムの開催

【技術普及課】

一月八日、塩尻市のレザンホールにおいて、カラマツ林業等研究会の記念シンポジウムを開催しました。

研究会では、長野県及び長野県林業総合センター、信州大学農学部、中部森林管理局が構成員となり、カラマツを中心とする長野県の森林・林業の発展に向けた研究発表会を毎年開催し、産・学・官で進めてきた研究成果が報告され、中部森林管理局も発表を行いました。

設立四十年を迎えた今回は、木と関わる交流の場を作ってきた「木と文化の環境フォーラム」との共催で記念シンポジウムを行うこととなり、県内各地から一八〇名が参加しました。

シンポジウムでは最初に、カラマツ林の面積が日本一の北海道において、カラマツの有効利用を進めている北海道林産試験場から二名の研究者を迎えて、「北海道に

おけるカラマツの川上から川下までの取組」と題し基調講演が行われました。続いて、長野県内でカラマツ材の利用開発に関わる三名の方から取組の報告が行われ、その後、発表者五名をパネリストとして、会場からの質疑を受ける形で、今後のカラマツ林業の展開について議論が進められました。



パネルディスカッションの様子

シンポジウムの詳細は、長野県林業総合センターのウェブサイトで「技術情報」で紹介されていますので、QRコードを読み込んでください。



「ブランド材を用いた新空間 デザインコンペ」受賞作品 展示会の開催

【資源活用課】

二月二十四日から三月一日までの七日間、JR長野駅「MIDORI長野りんごのひろば」において、「ブランド材を用いた新空間デザインコンペ受賞作品展（六）」を開催しました。

展示会は、長野県産ブランド材の知名度向上と普及のため、「高木曾ひのき」、「信州プレミアムカラマツ」を使用して新空間を演出するパーティションや内装などのデザインを募集し、受賞した作品の中から実際に製作した作品等を展示したもので、期間中は子供から大人まで多くの方に会場に足を運んでいただきました。

会場には、実製作した「かさね（学生の部優秀賞、有馬 幸さん、長野県、上松技術専門学校）」と「風やわら木（社会人の部部門賞、久保礼子さん、長野県、公務員）」の二点のほか、グランプリを受賞した「掛床（足立幸寿さ

ん、東京都、建築設計）」や学生の部で奨励賞を受賞した、長野県木曾青峰高校生の受賞作品のリースも展示しました。

展示会は、木材利用のPRにとともに、「りんごのひろば」は優しい木の香りに包まれ、ひとときの癒やしの空間となりました。



新型コロナウイルス感染防止に配慮した展示会の様子



〈各地からのたより〉

蘇る岐阜城 （岐阜城跡発掘調査から）

【岐阜森林管理署】

金華山国有林山頂に建つ岐阜城

は、鎌倉時代以来の歴史を持つ山城ですが、本格的な城郭は戦国時代の斎藤道三の時期に整備され、慶長五年（一六〇〇年）関ヶ原の戦いの前哨戦で落城し廃城になりました。明治四十三年に日本初の木造天守として再建されたものの、昭和十八年、失火により焼失し、現在の天守は昭和三十一年に戦後復興のシンボルとして再建されたものです。



今回発見された信長期に積まれたとされる石垣

昨年十月末から本年一月にかけて天守閣跡外二カ所、約一、四一〇平方メートルで調査が行われ、天守閣の西側で織田信長期の石垣が確認されました。

今回の発見は、天守台石垣が明治四十三年の天守建設の際、積み直されたため、現存していないと思われていたもので、大変貴重な発見といわれています。

このほか、二ノ門周辺でも信長期の石垣が確認されるなど、岐阜城の構造解明に繋がる新たな発見がされました。

岐阜市では、これからも発掘作業を進め、信長公の城造りの解明に取り組むとのことです。



発掘調査の作業の様子

もりもり上伊那山の感謝祭

【南信森林管理署】

一月三十日、伊那市の「いなっせ」において、上伊那地域振興局

等が主催する、「もりもり上伊那山の感謝祭」が開催されました。

南信森林管理署からはパネルやパンフレットを展示し、多くの方が立ち寄ってくれました。



南信森林管理署パネル展示等の様子

について幅広い話をされました。木の一番の魅力は、炭素を長期間固定することで、伐つてまた植えれば永遠に再生産可能であるところとあります。

「人の体は十八歳が炭素であり、人が亡くなり火葬されると空気中に炭素となって飛んでいくため、空気中のどこかに自分の祖先が漂っているかもしれない」と話されたのが印象的でした。

講演会では、秋田県立大学木材高度加工研究所 林知行所長が、「目からうろこの木材科学」と題して、木に関する一般的に信じられているウソや常識について解説、木を伐つて使うことの効果や木材のすごさ・限界・使い方など



林所長の講演会の様子

木も人間も同じ地球上の生命体であり、地球上で起こる様々な出来事は必ずどこかで繋がっていて決して他人事ではないと、改めて認識させられた講演会でした。

〈各地からのたより〉

継続は力なり

「林業土木協会岐阜支部」 ボランティア活動

【岐阜森林管理署】

十二月七日、美濃市の古城山国有林において名古屋林業土木協会岐阜支部による登山道整備が行われました。

同協会では平成二十年からこの活動を毎年この時期に行っており十年以上継続実施しています。

古城山国有林は、美濃市の運動公園に隣接し、この運動公園を着地とした登山道（遊歩道）が整備されているため、年間を通じて登山者や体力作りに励む地域住民の多くの方々に利用されています。



遊歩道の落葉清掃、草刈りの様子

この歩道を管理する美濃市からは、「手入れをしても次々と雑草・灌木が生い茂ってしまう。山からの土砂、落葉により側溝がすぐ一杯になってしまう。特に、

近年の局地的な豪雨は、一晩で側溝を埋めてしまうこともあり、その対応に苦慮している」といった課題があり、「毎年実施していただいているこうした整備活動は大変ありがたい」との話がありました。

このような継続した地域への社会貢献活動は、地元からの期待も大きいことから、有意義な取組として今後も継続していただきたいものです。



名古屋林業土木協会岐阜支部の皆さん

若手職員へOJTを実施

「簡易林分調査法の習得」

【木曽森林管理署】

二月十九日、若手職員及び森林官一年目の職員を対象に、次長を講師に林分蓄積等の把握手法についてOJT（職場内研修）を行いました。

木曽谷森林計画区は令和二年度に予備編成を迎えることから、署を挙げた取組を行ったものです。

はじめに、座学では、属地的な計画である施業実施計画の制度的位置づけに始まり、機能類型や施業群などの基礎知識、木曽谷計画区が置かれている特殊性などについて学びました。



現地での演習前の説明の様子

次に現地で、伐採計画を立てる際に重要なヘクターあたり蓄積を簡易的に調査する演習と、プロット内の毎木調査を初めは慣れない手つきで、「簡易測定版」や市販の「おみとおし」などを使用していました。一方で、樹高の測定には最後まで苦勞する姿が見られました。



立木を測定する様子

測樹結果は持ち帰り、データ集計して制度の良否について検討を行った結果、多少の差異は見られましたが、受講生には今回の演習を踏まえ、今後各地で木曽谷計画区樹立に向けて林分状況調査を進めていただきます。

当署では、来年度も現地での演習を多く取り入れ、若手職員の林業技術者としての技術向上に努めたいと考えています。



岐阜のマチュピチュと呼ばれる
上ヶ流地区の茶畑

マチュピチュはペルーにある古
代インカ帝国の遺跡で、「天空の
城ラピユタ」のモデル地としても
有名です。
そんな雲海に浮かんだ幻想的な
絶景が望める「日本のマチュピ
チュ」と呼ばれる名所は、岡山県
の竹田城跡や福井県の越前
大野城などが有名ですが、今、ひ
そかに注目を集めているマチュピ
チュは岐阜県にもあります。



■いびがわちようかみがれ
揖斐川町上ヶ流地区

岐阜県揖斐川町上ヶ流地区は、
岐阜森林管理署が管理する足打谷
国有林と檜原谷国有林の間に挟ま
れた山あいの小さな集落です。

海拔三〇〇メートルの高地に位置し、
寒暖の差が激しく霧が多い地域の
ため「上ヶ流茶」の生産地として
知られています。四方を山に囲ま
れ「天空の遊歩道」が整備されて
おり、標高四四〇メートルの絶景スポッ
トから眼下に広がる鮮やかな一面
の茶畑はまさに一枚の絵画のよう
です。

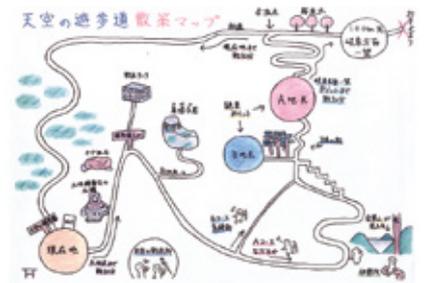


手作り看板で来訪者を案内

絶景スポットまでの遊歩道は地
元の方々のボランティアで整備さ
れました。周辺にはコンビニはも
ちろん自販機もありませんが、住
民手作りの案内板や散策マップ、
簡易トイレが設置されており、多
くの人に足を運んでもらいたい！

との、地
元の方々
の熱い思
いが至る
ところに
込められ
ています。

■いけだやま
池田山



手作り散策マップ

池田山(九二四メートル)は池田温泉
(揖斐郡池田町)から通じる道路
で頂上付近の「池田の森公園」ま
で登ることができます。山頂一帯
は民有林ですが、山復を支える山
裾は足打谷国有林で流域では林地
の崩壊を防ぐ治山工事を行って
います。

ここからの眺めは、視界を遮る
ものが全くなく濃尾平野の大パノ
ラマビューが広がります。

また、ここは知る人ぞ知るスカ
イスポーツのメッカで、頂上付近
にはパラグライダー&ハンググラ
イダーの発進基地があり、天気と
風向きの良い休日には、色とりど
りの鳥人がふわりと空中散歩を
している様子が見られます。
美しい日本の原風景に感動し、



◆アクセス【自動車】
○上ヶ流地区
(岐阜県揖斐郡揖斐川町春日六合)
養老鉄道揖斐駅から車で約二十分
○池田山(岐阜県揖斐郡池田町)
道の駅「池田温泉」から車で約二十五分



池田山から望む濃尾平野

同時に後世にも残したい。そんな
想いがわき起こるこの場所へ、皆
さんもどうぞ足を運んでみてくだ
さい。

八尾町では、毎年九月一日から三日にかけて「おわら風の盆」という富山県を代表する祭りが開催され、約二十万人の観光客が訪



おわら風の盆

神通森林事務所は、富山県の中央、富山市八尾町に位置し、富山市（旧大沢野町・大山町・細入村・八尾町）に所在する七団地、約九千畝の国有林を管理しています。

【富山森林管理署 神通森林事務所】
森林官 住 裕介



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



長棟国有林 針広混交林

れ、大変な賑わいを見せます。この時期は、台風が到来するので収穫前の稲が被害に遭わないよう、豊作祈願が行われたことから、「風の盆」と言われているようです。踊り手たちは、町の道筋で涼しげな揃いの浴衣に編笠の隙間から少し顔を覗かせながら洗練された踊りを披露します。



白木峰頂上の地塘と浮島

主に雪の影響で根元が大きく曲がっているのが立山スギの特徴で、一般のスギより材質が堅く豪雪地の富山県では、ヒノキよりも建築材として多く用いられます。なお、本国有林では、一六二六年に鉛山が発見され、一六四四年頃までに、年に六万貫（一貫は三・七五キログラム）程の鉛が採掘され、家数三百軒、小屋八百軒の長棟村として栄えました。昭和の初めには廃村となりましたが、その跡地が今でも確認できます。



巨大立山スギと筆者

未来の担い手へのメッセージ
今年度から、森林官となり、地域や関係機関の方々と連携して森林整備を行ってきました。間伐することによって林内に光が入り、明るくなっていくことが日々実感できる森林整備には、やりがいと大きな達成感を感じました。次世代に引き継ぐ山を手入れし、森林整備に汗を流してみませんか。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



富山県西部森林組合氷見支所

高林 美沙
(二〇一八年入社)



無花粉スギ植栽現場にて

■事業の概要

請負事業・森林環境保全直接支援事業

援事業

本事業は、氷見市の北部、海越の立山連峰を望む富山湾のすぐそばに位置する大境地区の民有林において受託した、間伐・更新伐・竹林整備等の森林整備事業です。適切な森林施業の実施により、森林の有する多面的機能を向

上させるとともに、将来の主伐に備えた環境を整備することで、「伐つて・植えて・育てる」循環型林業を目指しています。

■現場での役割、魅力

当組合では、提案型集約化施業を軸に事業を展開しています。その中、私は、森林施業プランナーとして、地域森林管理のための施業提案や合意形成、森林経営計画の作成、現場施業の設計並びに実行等、事業プロジェクトのコーディネートを行っていています。また、昨年から、ドローンによる空撮動画を活用し、森林の現況を森林所有者へ伝えつつ、目標林型

や森林ゾーンニング等を示し、最適な施業を提案する取組にも挑戦しています。

林業といえば「山の中で木を伐る仕事」をイメージする人が多いと思いますが、私もその内の一人でしたが、ただ山の中で木を伐るだけではなく、例えばスギを伐つて木材として出荷するまでには、植栽・下刈り・枝打ちや間伐などの工程があり、多くの手間と年月を掛けてようやく出荷することができま。私の仕事も、その過程の中にありますが、自分が携わった森林から将来立派な木材が出荷されることを想像しながら働くことにとてもやりがいを感じています。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

幼い頃から自然や動物が好きで、大学では地球環境問題などについて学びましたが、卒業後は林業とは全く関係のない仕事に就きました。趣味のアウトドア活動などを通じて、改めて山の魅力を感じ、山に関わる仕事をしたいと思い、農林水産公社の林業担い手セ

ンターを通じて女性でも活躍できる仕事があるよと紹介されたのが森林組合でした。

■未来の担い手へのメッセージ

今は機械化や道具の進歩もあり、現場で活躍する女性も増えています。かつて「3K」といわれた林業も、ICTの導入により効率化し、作業環境の改善や6次産業化などを背景とした新しいビジネスチャンスも見いだせるようになってきています。高齢化や少子化などで担い手不足が叫ばれる昨今、成長産業へと転換期を迎えつつある林業は、これからもっと魅力的な仕事になっていくと思います。森林を整備することは地球環境を守ることもつながります。美しい日本の自然を将来の子供たちに受け継ぐために一緒に頑張りませんか。



ドローンによる森林調査



間伐後のプロット調査



踏査をして森林経営計画を作成する

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



加藤土木株式会社

中谷 勝

(二〇一六年入社)



作業状況を確認している筆者

事業の概要

請負事業：平湯（安房谷） 水源

地域整備工事

発注者：飛騨森林管理署

本工事は、高山市奥飛騨温泉郷平湯国有林二一九〇林班内におい

て、溪間工コンクリート床固工を施工するもので、急峻な谷間を流れる土砂災害に備える堰堤を設置する治山工事です。

現場から上流域には、既に設置されている堰堤が三箇所ありますが、今回の施工箇所が約一、一〇〇立方メートルとなり、最も体積規模が大きい堰堤となります。

現場での役割、魅力

今回の工事では、起工測量、丁張かけを行いました。現場は標高一、五〇〇メートル付近で、初春のまだ残雪も多く厳しい条件で、時には積もった雪を除けながらの作業となりましたが、ひとつひとつ測点ポイントを押さえていき、丁張をかけていくと、堰堤を設置するための床掘りの形のイメージが出来上がりました。

ここから完成まで、たくさんの課題を限られた現場条件、環境のなかで、いかに効率よく、順序良くプロデュースしてクリアしていくかが、現場代理人として大切なことだと、一緒に作業をした先輩に指導していただきました。



完成した堰堤（最下流）

林業土木の世界に

入ったきっかけ

これまではまったく違う業種で勤務していましたが、また新たに何かにチャレンジしたいという気持ちで芽生え、妻の家族が経営する建設業に入社しました。

この業種は現場や現場内のチームメンバーも変わります。

また、森林、林業といった分野は、自然が相手なので現場環境も刻々と変化します。だから日々やることが、考えること、動くことも変化しますので、毎日が新鮮な気持ちでもあり、勉強の日々でもあります。

建設業で働くようになってから、人と自然の関わり合いをすごく意識するようになりました。特に森林、林業では現場で自然と触れ合うことで、四季を感じ、木々と向き合いながらパワーをもらっている気がします。何より自然の中で食べるお弁当は格別です。

未来の担い手へのメッセージ

現場も人も変化しながら仕事をするので、やりがいがありますし、色々な人と一つのを完成させる喜びも達成感もひとしおです。建設業に入る前は、皆恐い人ばかりというイメージがありましたが、入ってみると、実は皆さん心温かく優しい人が多いですし、人思いです。コミュニケーションは大事ですね。この仕事は、技術も人も磨ける職業だと思っています。



安全パトロールの状況



掲載したイベントについて

新型コロナウイルス感染症対策の状況により、感染拡大を回避するためイベント等を中止、延期又は規模縮小等の対応がとられております。お出かけの際は、現地の最新の情報を確認し、感染症の予防対策を十分に行ってください。

下旬

① 12日 「神淵神社例大祭」

(岐阜署 七宗町)

七宗国有林に隣接する神淵神社の例祭は、四〇〇年以上の歴史がある七宗町最大のイベントで、樹齢八五〇年の大スギ(国指定天然記念物)の神域で天の岩戸神話をかたちどる神事が行われます。

お問い合わせ先…七宗町役場企画課
電話〇五七四一四八二二九一



中旬

② 15日 立山黒部アルペンルート

(中信署 大町市)

立山黒部アルペンルートは標高三、〇〇〇メートル級の峰々が連なる北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルートです。総延長三七・二キロ、最大高低差は一、九七五メートル、そのほぼ全区間が中部山岳国立公園内にあります。



③ 17日 (予定)

戸隠中学校巣箱掛け (北信署 長野市)

戸隠森林植物園(戸隠山国有林)にて、小鳥たちの保護を目的とした愛鳥週間に先駆け、地元中学生が、小鳥達のために作成した巣箱掛けを行います。

この巣箱掛けは昭和四十八年から毎年実施しております。



④ 中旬 水芭蕉園

(北信署 飯綱町)

霊仙寺山国有林内の約五ヘクタールの湿地に約四十一万株の水芭蕉や黄色の可憐なリュウキンカが咲き誇り、五月上旬からは約十万株の二リンソウも群生します。



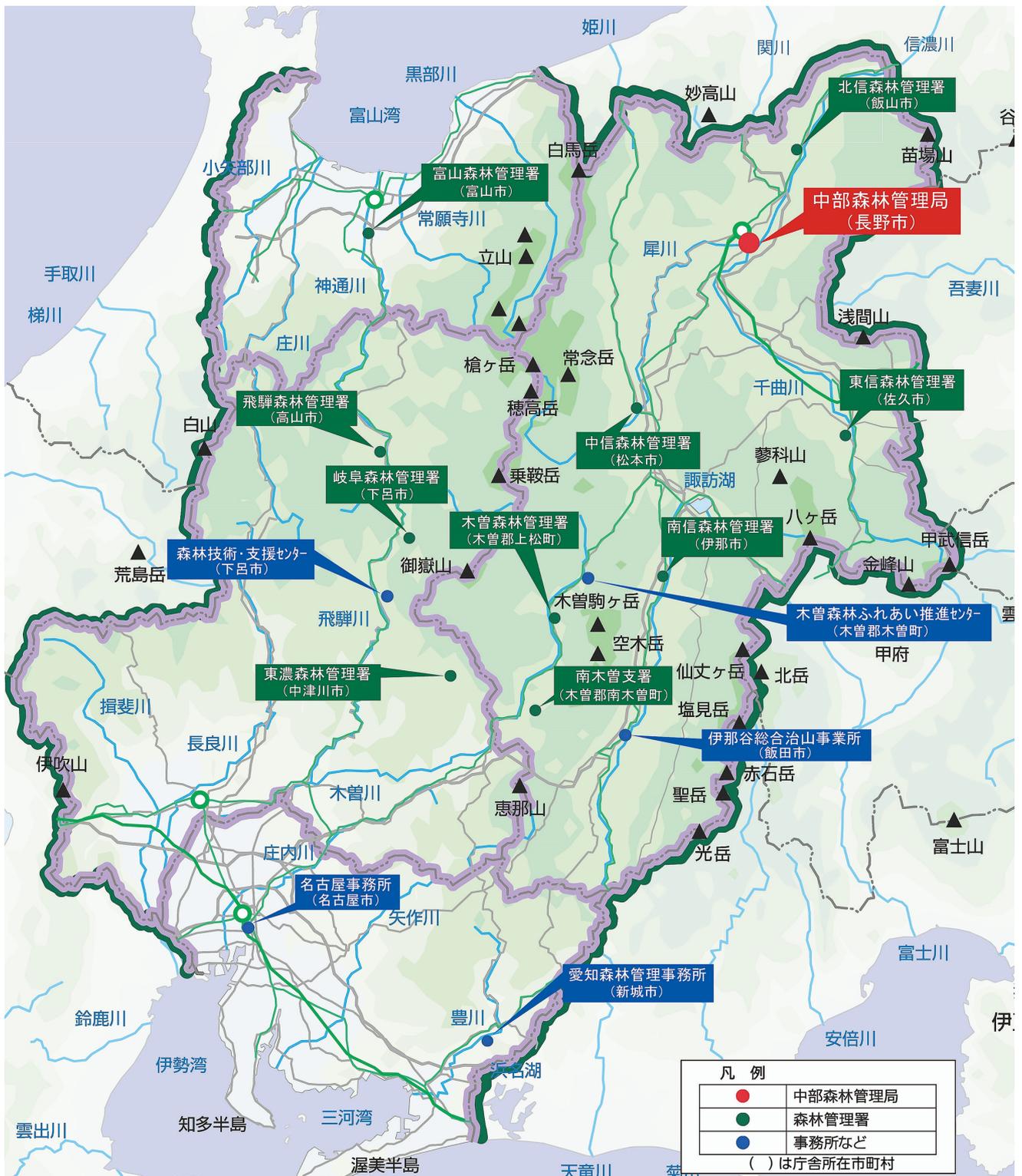
下旬

⑤ 道の駅「飛騨小坂はなもも」のはなももが見ごろ

(岐阜署 下呂市)

飛騨路にようやく春が訪れ桜花爛漫の時節、道の駅「飛騨小坂はなもも」の周辺には、八〇〇本のハナモモの苗木が育てられ花を咲かせています。

地元有志が、丹精込めて育てたハナモモの木で、色とりどりの花が咲き誇ります。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149